

原型不定詞

1. 原型不定詞とは

不定詞は、通常「to + 動詞の原形」の形をとりますが、to がない場合があります。この to のない不定詞を原形不定詞といいます。

原形不定詞をとる形は次の3つです。

1. 助動詞＋原形不定詞
2. 知覚動詞＋目的語＋原形不定詞
3. 使役動詞＋目的語＋原形不定詞

では、それぞれみていきます。

2. 原形不定詞の英作文

1 助動詞＋原形不定詞

will, can などの助動詞の直後では、原形不定詞になります。ただこれは、みなさん「助動詞＋動詞の原形」の形で学習していると思いますので、それほど気にしなくても OK です。

助動詞をまだ習っていない方は、原型不定詞よりもまず助動詞を学習することをお勧めします。

- can
- must
- may

2 知覚動詞＋目的語＋原形不定詞

知覚動詞とは、目や耳などの感覚から情報を得る動詞です。例えば、

- hear (聞く)
- see (見る)
- watch (見る) 等

のことで、では例文です。

「私は彼が逃走するのを見ました。」

という文。ここで注目して欲しいことは、**see** をいう動詞を使うことです。この動詞は知覚動詞なので原形不定詞をとります。従って、

⇒ I saw him run away.

これが正解です。下のよう、**to** をつけないで下さい。

⇒× I saw him to run away.

ただ、知覚動詞が受け身の文になると **to** が必要です。

⇒ He was seen to run away by me.

(彼は私に逃げるのを見られました。)

また、原形不定詞を現在分詞にしても OK です。

I saw him run away.
= **I saw him running away.**

少しややこしいかもしれませんが、知覚動詞は原型不定詞でも現在分詞でもどちらでも OK です。ただし、受身になると **to** が必要であることを覚えて下さい。

例文：

[原型不定詞]

We heard a baby cry.
(私たちは赤ちゃんが泣いているのを聞きました。)

[現在分詞]

We heard a baby crying.
(私たちは赤ちゃんが泣いているのを聞きました。)

[受け身]

A baby was heard to cry by us.
(赤ちゃんは泣いているのを私たちに聞かれました。)

[原型不定詞]

I watched them play soccer.
(私は彼らがサッカーをしているのを見ました。)

[現在分詞]

I watched them playing soccer.
(私は彼らがサッカーをしているのを見ました。)

[受け身]

They were watched to play soccer by me.
(彼らは私にサッカーをしているのを見られました。)

3 使役動詞＋目的語＋原形不定詞

使役動詞とは「～させる」を意味する動詞です。例えば、**make, have, let** 等です。これらはすべて「～させる」の意味ですが、厳密には次の様に使い分けされます。

- **make** … (強制的に) ～させる
- **have** … (一般的に) ～させる
- **let** … (許可して) ～させる

文脈を把握して、正しい使役動詞を使えるようにして下さい。では例文です。

「私は彼女を家に帰らせました。」

という文。この文を **make** を使って英作します。**make** は使役動詞なので原形不定詞をとります。従って、

⇒ **I made her go home.**

これが正解です。下のように、**to** をつけないで下さい。

⇒× **I made her to go home.**

以上が使役動詞の基本的な形ですが、使役動詞によっては様々なルールがありますので、次で説明します。

4 make について

- 受け身にすると to が必要

例文：

[原型不定詞]

I made her go home.

(私は彼女を家に帰した。)

[受け身]

She was made to go home by me.

(彼女は私に家に帰らされた。)

- 原形不定詞ではなく状態を表す語がくることもある

例文：

He made me happy.

(彼は私を幸せにしてくれました。)

5 have について

○ 受け身にできない

例文：

[原型不定詞]

I had a dentist my tooth treat.

(私は歯医者さんに歯を治療してもらった。)

×[受け身]

×**My tooth was had to treated by a dentist.**

× (私の歯は歯医者さんに治療された。)

○ 「have+目的語+過去分詞」で「～してもらう」「～される」の意味になる

例文：

I had my car repaired.

(私は車を修理してもらいました。)

He had his brother solved the question.

(彼はお兄さんに問題を解いてもらいました。)

I had my wallet stolen.

(私は財布を盗られました。)

6 get について

○ get+目的語（人）+to+原形不定詞

通常、get は「～を得る」や「～になる」の意味で使われますが、get にも使役の意味があります。そして、その使役の「～させる」で使う場合は to が必要です。

例文：

I get my sister to clean my room.

（私は妹に自分の部屋を掃除させます。）

ひどいお兄ちゃんですね。

○ get+目的語（物）+過去分詞

have と同じように、「～してもらう」「～させる」の意味もあります。その場合は、have と形が同じです。

例文：

I get my room cleaned by my sister.

（私は妹に自分の部屋を掃除してもらいました。）

お兄ちゃんに少し心の変化があったようです。

7 help について

○ help+目的語+ (to) +不定詞

help にも使役の意味があります。その場合は to があっても原型不定詞でも構いません。

例文：

[原型不定詞]

I helped my sister clean her room.

(私は妹が部屋の掃除をするのを手伝いました。)

[to 不定詞]

I helped my sister to clean her room.

(私は妹が部屋の掃除をするのを手伝いました。)

どうやらお兄ちゃんは心を入れ替えたようです。